

学校教育目標 《明るく・かしこく・仲よく》



新小だより 11月号

ぶうくん



令和元年 11月 1日 No.7
狭山市立新狭山小学校
〒350-1305
狭山市入間川 1108
Tel 04-2958-4080
Fax 04-2958-4092

児童数 男子 254名, 女子 252名 計 506名 11/1 現在

みんな違うのが当たり前

お互いの心に耳をすませて ハーモニーを奏いきましょう 校長 紫竹理枝子

10月22日には「即位礼正殿の儀」が行われました。日本の新しい時代の幕開けを国内外に。知らせました。ラグビーのワールドカップ決勝も明日となり、日本代表も初の8強入りをし歴史的快挙を成し遂げました。

日本代表の選手たちの中には、トンガ、サモア、ニュージーランドなどで生まれた外国人選手も多くいます。はじめは正直少し違和感を感じましたが、そんな感情は吹き飛びました。応援しているうちに、キャプテンのリーチ・マイケルをはじめ多くの外国人の選手たちが、日本に留学にきて、お世話になった方々に恩返しをしようと、母国ではなく日本のために頑張ってくれているのを知りました。生まれた国や話す言葉が違って、友情で固く結ばれていました。ラグビー自体が国境を越えてチームをつくり、体と体のぶつかる戦い、試合が終われば敵も味方も全て仲間というスポーツです。そして、努力すれば、みんなで一つになれば夢をかなえられると証明し、私たちに勇気を与えてくれました。



このことを学校、地域に置き換えてみると、私たちも、生まれた場所も育った環境も、考え方も、得意不得意も違います。誰一人として同じ人はいません。みんな違うのが当たり前です。だからこそ、一人一人のよいところを認めて、お互いに尊敬し感謝の気持ちをもって接していくことが大切だと思います。

11月6日には、市内音楽会が市民会館であり、4年生が新狭山小の代表として出場します。一人一人の声やリコーダーの音は違うけれど、朝も休み時間もみんなで練習して美しいハーモニーを奏でています。ハーモニーの意味は「調和」です。音楽の世界でも生活する中でも調和はとても大切です。一人一人違うからこそ、同じ時間を一緒に大切に過ごし、お互いの心に耳をすませ、心を合わせて生活していきましょう。

美しいハーモニーあふれる、全ての人が共生できる地域、学校にしていきたいです。

We were all born in different places and have different ways of thinking. We also have strengths and weaknesses. Everybody is special.

Therefore, it is important to accept the differences, and we should always treat each other with respect.